

「令和4年度 地域支援センターささっこ 特別支援教育研修セミナー」を開催しました。



7月28日(木)に「令和4年度 地域支援センターささっこ主催 特別支援教育研修セミナー」を開催いたしました。前慶應義塾大学医学部小児科顧問であります、渡辺 久子先生に「特別な支援を必要とする児童生徒の保護者が抱える問題と子供の育ちを支える保護者支援」の演題で御講演をいただきました。先生は11年前の東日本大震災直後から福島県の子どもたちや保護者の心の支援にいち早く駆けつけて下さいました。その支援は現在でも福島県の各地区に根付き継承されております。渡辺久子先生に御講演をいただくのは今回で3年目になります。今回の講演では、特別な支援を必要とする児童生徒の保護者が抱える問題と子供の育ちを支える保護者支援について、小児科の医師として長年子どもたちの治療にあたってこられた経験による、生きたアドバイスをたくさん頂戴することができました。

新型コロナウイルス感染症の対策を講じた開催となったため、校内参加者は校舎内の3つの会場に分かれてのリモートでの聴講、小・中学校、高等学校から参加の24名の皆様は各自リモートでの聴講となりましたが、モニターを通してそれぞれの会場を身近に感じて開催することができました。各会場のモニターには先生の熱く語りかける姿が映し出され、その言葉の一つ一つが聴講する者の心に響き、先生の言葉に真剣に頷く姿や、熱心にメモを取る姿が見られました。

また、講演後のトークセッションでは、様々な事例について心のコもったアドバイスをいただきました。子どもや保護者に寄り添うあたたかい言葉や励ましの言葉、また、支援に携わる者すべてをねぎらい、励ます言葉をいただき、たいへん勇気づけられました。

渡辺久子先生には、自立活動室から講演をいただきました。



本校教職員は各職員室に分かれて、リモートで聴講しました。



外部参加者は、小・中学校、高等学校から24名。

オンラインでご参加いただきました。トークセッションでは様々な事例にアドバイスをいただきました。

